



CEO いわさ とおる 岩佐 十良 氏

# 地域特性を活かした ライフスタイル提案型複合施設

05

株式会社自遊人 里山十帖

## Data

所在地：新潟県南魚沼市 設立：1989年  
 資本金：5,350万円 従業員数：49人  
 客室数：13室  
 事業内容：遊休施設を活用した宿泊施設運営

## 🔦 ここがポイント！

- ❑ 宿泊施設をメディアと定義し、独自のコンセプトで事業を推進
- ❑ 自社の成功事例もとに地域課題を分析し、解決のためのデザインを策定。

## 1. 企業概要

雑誌「自遊人」の編集等を行っていた株式会社自遊人は、2014年、新潟県大沢山温泉に宿泊施設「里山十帖」のオープンしたことを契機として宿泊業に進出。現在は里山十帖の他に、長野県松本市の松本十帖を始め、複数の宿泊施設を運営している。



## 2. 取組の背景

### リアルメディアとしての宿泊施設

同社は設立以降、加工品の製造等を通して、無添加食品や天然醸造味噌・醤油といった「食」にフォーカスした発信を行ってきた。多様な手段で発信を続ける

中で、食の取組を、よりリアルな体験として伝えられるメディアがないか模索するようになった。そんな折、新潟県に本社を移したところ、同県の築150年の古民家再生の話が舞い込んだ。リノベーションを行ったその古民家こそが、宿泊型複合施設の里山十帖である。同社は、宿泊体験を通して、真に豊かな暮らしについて提案・発信している。

## 3. 取組の内容

### 食を中心に10のテーマを発信

里山十帖では、衣・食・住・農・芸・遊・環・癒・健・集の10のテーマにおいて、地域の魅力を発信している。例えば「食」では、地域の風土・文化・歴史を表現するローカル・ガストロノミーを提供したり、地域住民と協働し、オーガニック魚沼産コシヒカリを育てる農作業体験を提供。また「芸」では、美術大学と連携し、産学共同で施設のリノベーションに取り組んでいる。

岩佐氏は、今後は「衣」「住」に注力し、南魚沼の文化・歴史を表現していきたいと語る。





▲里山十帖 施設イメージ



## 地域住民と協働

南魚沼の魅力を発信する里山十帖の取り組みに、地域住民の協力は欠かせない。例えば、宿泊客に提供する食材の調達や、農作業体験プログラムは、地域住民の協力があってこそ成り立つ。関係性構築・強化のために、自社イベントに地域住民を招待したり、地域のお祭りに社員が参加したりと、双方向でのコミュニケーションを重ねているようだ。こうした協働は、地域の山村活性化や雇用創出にも寄与している。

## 4. 工夫した点

### 地域課題を分析し、デザインに反映

里山十帖の新しい宿泊体験は反響を呼び、他地域の宿でも横展開されている。岩佐氏自ら現地に赴き、地域の課題、歴史、風土、人々の想いを理解した上でコンセプトを設定するようだ。すでに成功したビジネスモデルを単に模倣するのではなく、地域特有の課題分析や魅力を起点としたデザインを設計することが、事業展開の鍵になっている。



## 5. 成果

### リピーターや新規顧客を獲得

デザインを通して地域課題を解決する取組は注目を集め、多数の賞を受賞した。里山十帖を開業した2014年度には、「グッドデザイン賞」（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）などを複数受賞。また、地域食材を活用した食事は「ミシュラン2020」や「ゴ・エ・ミヨ2021」にも掲載され、スリートックという高評価を得た。

宿泊客利用者からは、南魚沼の魅力を実感できたとの声が多く、リアルメディアとしての発信の成果が表れている。開業当初は、雑誌『自遊人』読者方が多かったが、現在はリピーター客やその紹介という新規顧客も獲得しているようだ。

## 6. 今後の展望

### 暮らすような宿泊体験で魅力発信

新たに開設した「里山十帖 THE HOUSE」では、実際に地域に住んでいるかのような宿泊体験をコンセプトに、里山十帖とは異なる角度から南魚沼の魅力を発信していく予定だ。田植えや稲刈り等のアクティビティも精力的に継続していくという。里山十帖を起点に、南魚沼の魅力発信はさらに広がる。

取組の関連情報はこちら

- ・ 里山十帖  
<http://www.satoyama-jujo.com/>
- ・ 里山十帖 THE HOUSE  
<https://satoyama-jujo.com/thehouse/>